

## 令和7年度「国分寺市親子ひろば事業」 報告動画

### 【スライド1】

令和7年度協働事業、国分寺市親子ひろば事業の報告をします。

### 【スライド2】

国分寺市親子ひろばは市内に12箇所あります。その中の一つである私たちの親子ひろば「コアラッコ」は、国分寺市と唯一協働で行っている親子ひろばです。

### 【スライド3】

「市民室内プール親子ひろばコアラッコ」として、2月までは市民室内プールの3階会議室及び2階和室で週3回、月曜（第1を除く）、木曜、土曜に開催しました。

### 【スライド4】

私たちは「安心・安全なひろば、子どもも保護者も」をモットーに入口からサポートを心掛け、利用者が来館しやすい環境づくりに努めています。

ひろば内では感染症に不安を感じる利用者にも安心してもらえるよう、おもちゃや施設の除菌に努め、また事故がないよう細心の配慮をしています。

利用者は子どもたちが楽しそうに過ごす姿をみながら、日々交流し、イベントで一緒に子育てを楽しみ、講習等で子育て情報を共有しています。

こうした活動を通して、子育ての悩みを利用者同士で話したり、スタッフや助産師などの専門職に相談できる環境ができていると考えています。

### 【スライド5】

3月からは市民室内プール施設利用停止に伴い、にしこいがくぼ親子ひろば「コアラッコ」として、恋ヶ窪公民館・図書館おはなし室で、週3回、月曜（第3を除く）、水曜（第1を除く）、土曜に開催しました。

大きな窓の明るい室内で成長に合わせた様々なおもちゃで遊びました。行きや帰りに図書館に立ち寄る親子もいました。

#### 【スライド6】

恋ヶ窪公民館・図書館に移動してからも入口階段でのサポートや部屋への誘導を行い、安心して遊べるようにしました。

子どもたちは場所が変わったことによるちょっとした変化を楽しんでいたようです。

#### 【スライド7】

コアラッコのイベントをご紹介します。

#### 【スライド8】

市の事業である「助産師のいる日」は体重測定もできるので継続しての利用も見られました。

「お誕生日会」では、手形・足形や写真を撮ったりしてみんなでお祝いをしました。

パパカフェ、多文化カフェは、トピックを毎回決め開催しました。多文化カフェでは会自体に興味があるという方の参加もありました。パパカフェでは多くのパパ同士で、とても話が弾んでいた回も見られました。

きょうだい利用のきっかけにもなればと、月に 1 回土曜日に施設管理事業者の協力も得てすべり台の日を設けました。自分より月齢の大きな子が遊ぶ真似をして、初めてすべり台に挑戦したり順番に並んだりする姿が見られました。

#### 【スライド9】

0歳児対象のベビーコアラッコは、令和4年度からはじめました。

新規利用を促す意味で2月までは予約優先に10組程度とし、仲間づくりと情報提供を行い、元利用者さんはじめ多彩な講師をお招きしました。

#### 【スライド10】

工作の日も土曜日に開催しました。それぞれの月齢に合わせて一人で、きょうだいで、または親子で取り組んでいました。

継続して参加する子もいて季節ごとに個性あふれる素敵な作品ができていました。

#### 【スライド11】

利用者さんのやれること、やりたいことを応援しているのが「ねこのてクラブ」です。

利用者さんが講師となることでリラックスして参加でき情報交換も活発です。ひろばだけでなく地域にお知り合いが出来たとお声もいただきました。

オンラインひろばは昨年より回数を増やして 6 回開催しました。

ひろばに来られない方に機会を提供すること、ひろば利用に繋げることの 2 つの目的を持って行っています。新しい取り組みとして、助産師に「性のお話」を聞きました。なかなか聞けないけど気になることをオンラインひろばではざっくばらんに聞けたと好評でした。

また、オンラインで別室の講師のストレッチを繋ぐことで、ご自宅からひろばからとみんなでストレッチを楽しむことも出来ました。

#### 【スライド 12】

私たちは地域の子育て支援団体やボランティアなどとの連携も大切にしています。

「体育室で遊ぼう」はプール施設事業者と協力して施設事業を紹介しました。0歳からひろばに来て体操教室、プール教室へと親子を長く地域で見守れるようにすると同時に利用者さんが地域サービスを知って自ら利用できるように心がけています。

#### 【スライド 13】

子育て仲間フェスティバル。

コロナで中止となっていましたが今期再開し地域のボランティア団体の協力で手話うた、親子でヨガ、読み聞かせと手遊びを楽しんだ後、フレッシュハーブティーを親子で飲む、リラックスした時間もありました。

ひろばを卒業し、小学生になった親子が懐かしいと参加する姿もありました。

10/25(土)開催、合計 14 人の参加です。

#### 【スライド 14】

コアラッコでは子どもは「遊びの中で育つ」を大切にしています。子どもの成長にあった、成長を促すおもちゃを用意しています。

今期からコアラッコの特徴であった木のおもちゃを常時ひろばで遊べるようにしました。除菌、清掃しやすいおもちゃの良さと木のおもちゃの匂い、ゆっくりとした動き、重さなど親子に伝え、遊んでもらうことで次の成長に繋がっていきます。

【スライド 15】

年間利用数データです。詳しい数字は概要報告の2ページをご覧ください。

年間利用者は2,610人となっており、前年度(3,243人)よりも2割程度減少しています。乳幼児の利用傾向は、例年に比べ若干2歳児以上の利用が26%に増加しています。

【スライド 16】

相談については、全体の件数は74件と減少していますが、内容はほぼ例年通りで、子どもの行動についての不安など、親自身の悩みなどになっています。

【スライド 17】

次に利用者の反応をお伝えします。

子育てアプリ「ボシモ」を利用した市内親子ひろばアンケート調査から、コアラッコ利用者のアンケート結果です。コアラッコの利用回答は41人でした。

ひろば利用の満足度は、5段階評価で5が28人、4が9人と全体の90%に達しています。

【スライド 18】

また、ひろばでの相談経験については、41回答中30人が「スタッフに相談経験あり」と回答、その後の満足度では23人が5、5人が4と記し、90%の方がほぼ満足と回答しています。

【スライド 19】

利用者の声からは、当ひろばスタッフが親子に寄り添い、さらに子育ての仲間づくりを目指していることが受け入れられていることがわかります。

また、パパカフェなど、普段利用数が少ない層にも、アピールできているものと思います。

以上の親子ひろばアンケートの満足度、相談経験、利用者の声から、当ひろばが市民に気軽に利用しやすく、相談できる、そして楽しんで参加できる親子ひろばとして受け入れられていると考えます。

【スライド 20】

市民室内プールから恋ヶ窪図書館おはなし室に移動し、「にしこいがくば親子ひろば「コアラッコ」」として3月から再出発したばかりです。

新たな場所での運営を再構築する必要を感じています。特にイベントなどの予定は、小さな部屋での運営は難しく、日常利用を優先せざるを得ません。

これからも困った時に「ひろばに行ったり、連絡すればなんとかなるよ」と言ってもらえるひろばを目指します。

まだまだ移動したことが知られてないので、これからも SNS を活用、オンラインひろばや多文化な市民向けの活動と連携する等、狭いひろばでも「できること」を模索していきます。

これで令和7年度協働事業「国分寺市親子ひろば事業」について、コアラッコの報告を終わります。ありがとうございました。